

北8西1地区第一種市街地再開発事業に基づく環境影響評価に関するモニタリングの報告

1. モニタリングの実施に係る経緯

当事業に係る環境評価手続きの中で、当組合が作成した環境影響評価書において、以下のとおり事業者の見解を示した。

- 1) 北九条小学校及び児童への健康影響について
- 2) 小学校の学習・生活環境及び学校運営への影響

上記については、評価方法や評価基準が定められたものがなく、類似事例もないことから、事業者としては「当事者間の協議に基づき、被影響者の意向を踏まえながら継続的にモニタリングを実施していく」こととしている。

2. モニタリングの方法

- 1) 北九条小学校及び児童への健康影響に関するモニタリングの方法

- ・建物上棟（2023年5月）から2年間、再開発組合に健康相談窓口を設置する。
- ・健康相談窓口に寄せられる相談・問合せの情報や、北九条小学校・再開発組合・札幌市に寄せられる情報などを共有するため、三者による定期的（年2回）な情報共有・意見の場（情報交換会）を設ける。

- 2) 小学校の学習・生活環境及び学校運営への影響に関するモニタリングの方法

- ・グラウンドの雪解け状況に関する経過観察（目視及び同一地点からの写真撮影）を行う。
- ・上記以外に具体的な影響が想定されないことから、児童の学習・生活環境の向上に寄与する取組やこれを支える連携協力体制について試行的に進める。

3. モニタリングの結果

- 1) 北九条小学校及び児童への健康影響に関するモニタリング結果について

- ・実施期間：2023年5月1日～2025年4月30日までの2年間
- ・情報交換会の開催：第1回2023年6月16日、第2回2023年12月13日
（5回開催） 第3回2024年6月14日、第4回2024年12月6日、第5回2025年5月9日
- ・問合せ（相談内容含）件数：北九条小学校0件、札幌市0件、再開発組合0件、健康相談窓口0件

- 2) 小学校の学習・生活環境及び学校運営への影響に関するモニタリング結果について

- ・グラウンドの雪解け状況の経過観察（2015年3月～2025年4月の11年間）を実施したが、各年における気象状況が、大きく影響を与えるものであり、建物の影響による原因として雪解けが遅延していると判断することは困難であった。
- ・一方で、北九条小学校と再開発組合とのこれまでの連携・協力として、年2回開催の情報交換会後に懇談会（現在は北九条小学校児童交流イベント実行委員会）を開催し、北九条小学校・再開発組合・札幌市の連携・協力により、昨年12月に北九条小学校との交流イベントを再開発ビル（さつきた8・1）で試行的に実施した。実施内容については次頁に記載する。

4. まとめ

- 1) 小学校及び児童への健康影響については、建物上棟後、2年間に亘るモニタリングを行い、関係者間における情報共有を進めてきたところであるが、日影による健康への影響に関して、小学校をはじめ再開発組合や札幌市においても問合せ等がない状況であり、日影による健康への影響は、極めて限定的なものと判断することから、モニタリングについては終了する。
- 2) 小学校の学習・生活環境及び学校運営への影響については、グラウンドの雪解けについては気象条件が大きく影響するものであり、建物による影響は極めて限定的であり、これに係るモニタリングは終了し、情報交換会において当事者間で措置は必要ないものと判断した。また、その他の影響については、情報交換会で意見交換をしたものの、想定される影響は把握できなかった。

なお、両施設が近隣しており連携していくことが重要と考え、北九条小学校とさつきた8・1が今後も連携を図ることで、児童の学習環境の向上に繋がるとともに、地域の魅力向上に繋がっていくと考えられ、引き続き、持続的な取組みを行えるよう検討を進める。

「参考」北九条小学校とさつきた8・1が組んだ連携・協力について

●2年生の展示企画（目的：「めざせ、生きものはかせ」のテーマを設定し、研究成果の発表）



●3年生の展示企画と発表会（目的：鉄西地区の魅力をパンフレットにまとめ、発表）



●4年生のアート実演（敷地内貫通通路展示スペース）の見学会



●5、6年生の能鑑賞会



●その他

- ・施設の工事中に6年生による現場見学を2回（2021年、2022年）実施。
- ・当地区敷地北側外部仮囲い、又、地下通路に全児童の絵を掲示。